

2010年3月期 通期連結決算の概況

2010年5月20日

 株式会社 河合楽器製作所
Kawai Musical Instruments Mfg.Co.,Ltd.

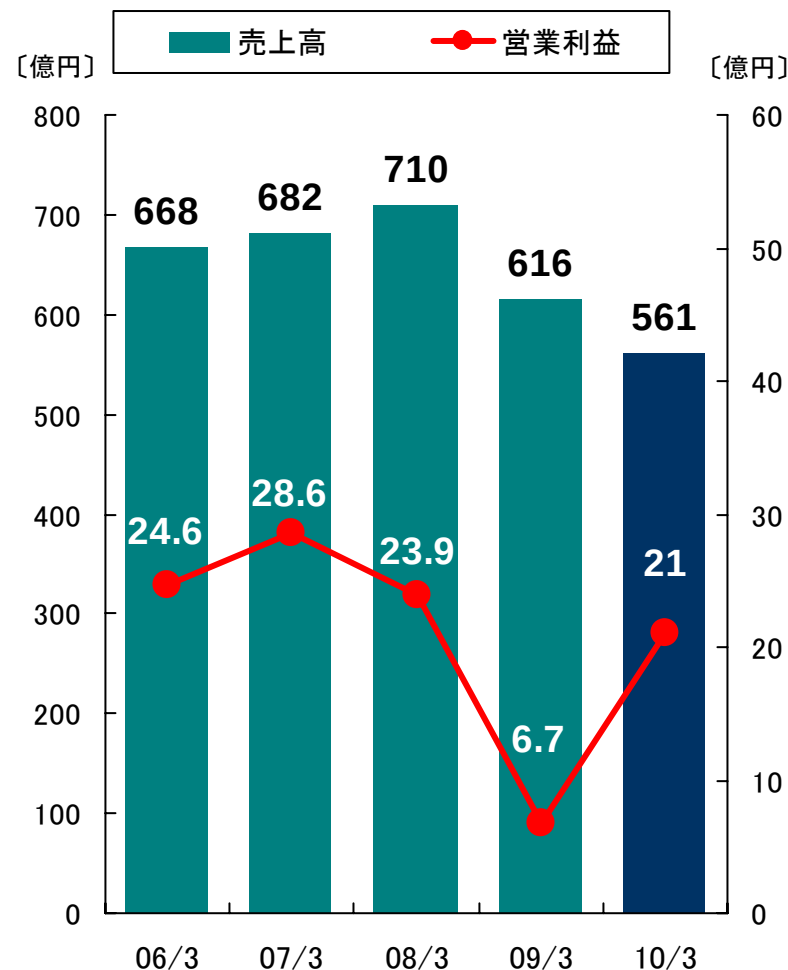


・・・ 2010年3月期の外部環境 ・・・

- ◆中国の景況は引き続き拡大傾向にあるが、楽器業界では横ばい。国内・欧米市場の消費低迷は継続。
- ◆国内は少子化が進行し、個人消費低迷も継続。
- ◆半導体・自動車関連業界は、上期後半より回復基調。
- ◆各通貨に対する円高傾向が継続。

・・・ 連結業績の概要 ・・・

- ◆連結売上高は、2期連続の減収。前期比▲9%。
- ◆営業利益は、3期ぶりの増益。前期比+212%。
- ◆経常利益、当期利益は、2期ぶりの黒字転換。

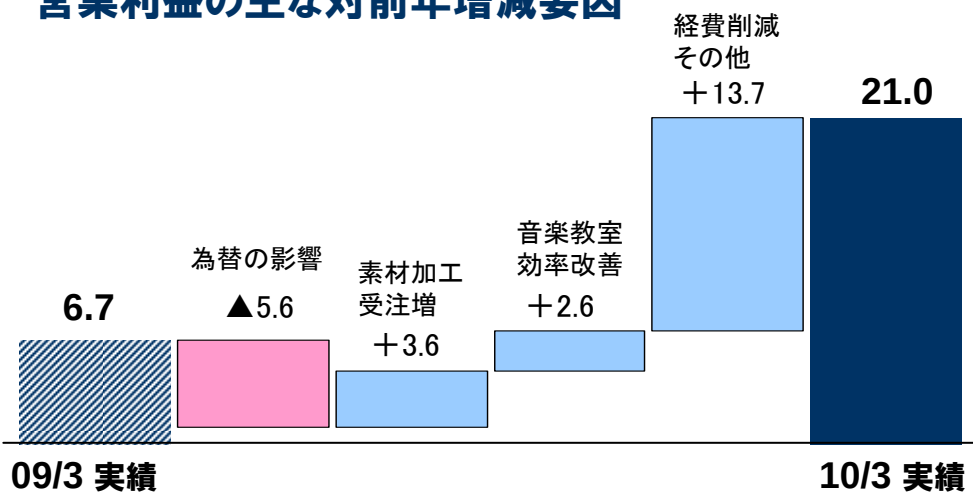


売上高は減少も、営業利益は音楽教室の効率改善、経費削減等により増益。

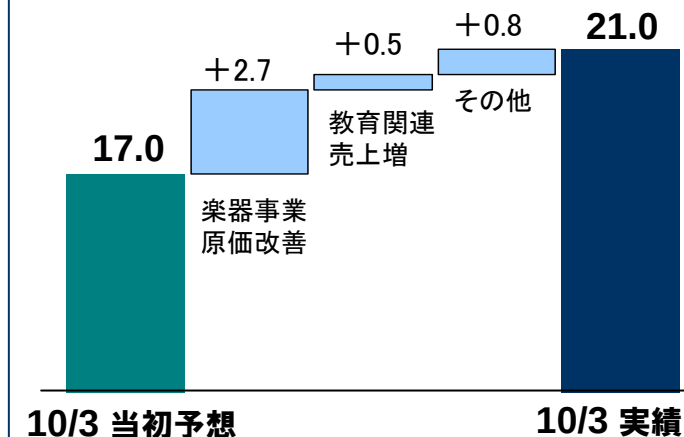
	09/3		10/3		前期 差異	伸長率	当初予想 (10.2.9発表)	予想 差異
		利益率		利益率				
売上高	615.9	—	560.6	—	▲55.3	▲9.0%	550.0	+10.6
営業利益	6.7	1.1%	21.0	3.7%	+14.3	211.6%	17.0	+4.0
経常利益	▲1.5	—	19.3	3.4%	+20.8	—	14.0	+5.3
当期利益	▲7.8	—	13.2	2.4%	+21.0	—	8.0	+5.2
為替レート US\$ 103.5円 93.6円 ▲9.9円 93.6円 0.0円								
EURO 152.4円 130.2円 ▲22.2円 130.2円 0.0円								

営業利益の主な対前年増減要因

〔単位：億円〕

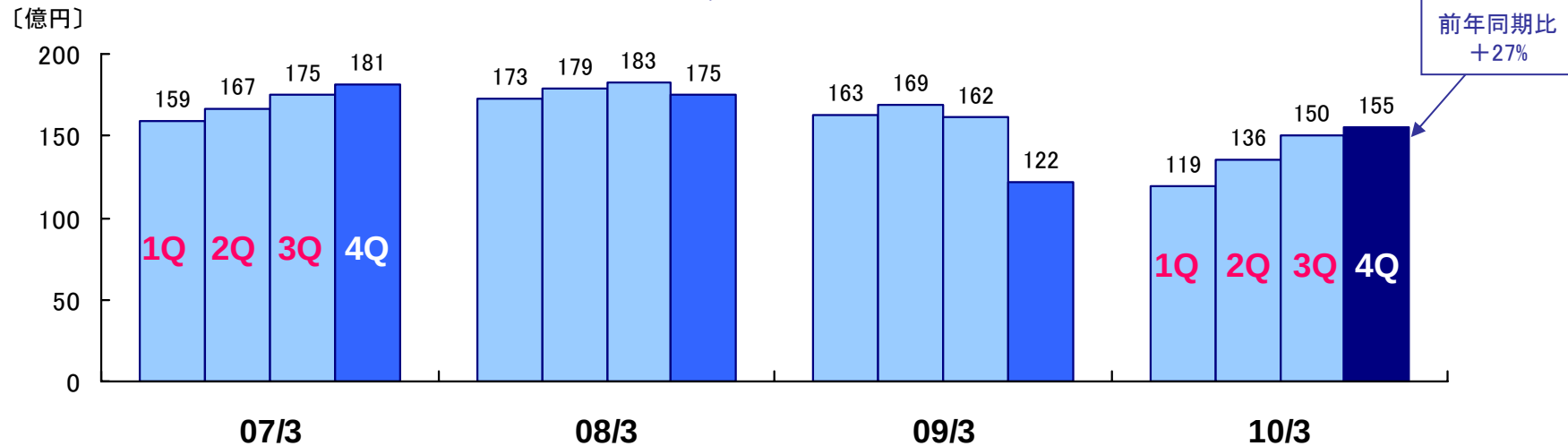


◆対当初予想

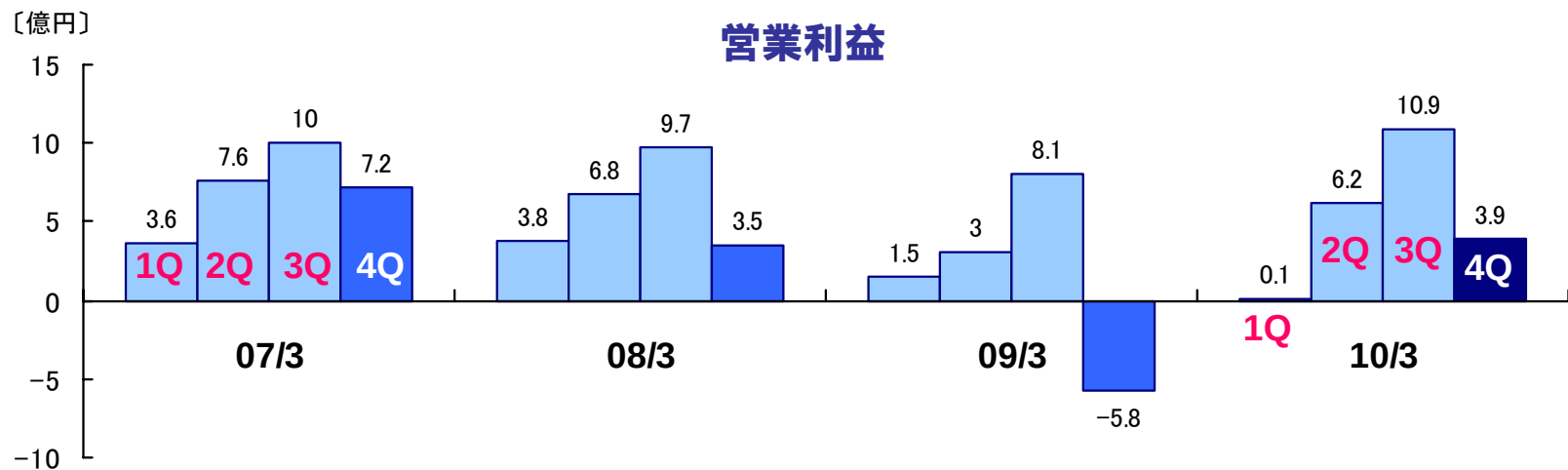


売上高・営業利益ともに、期後半に向けて順調に回復。

売上高



営業利益

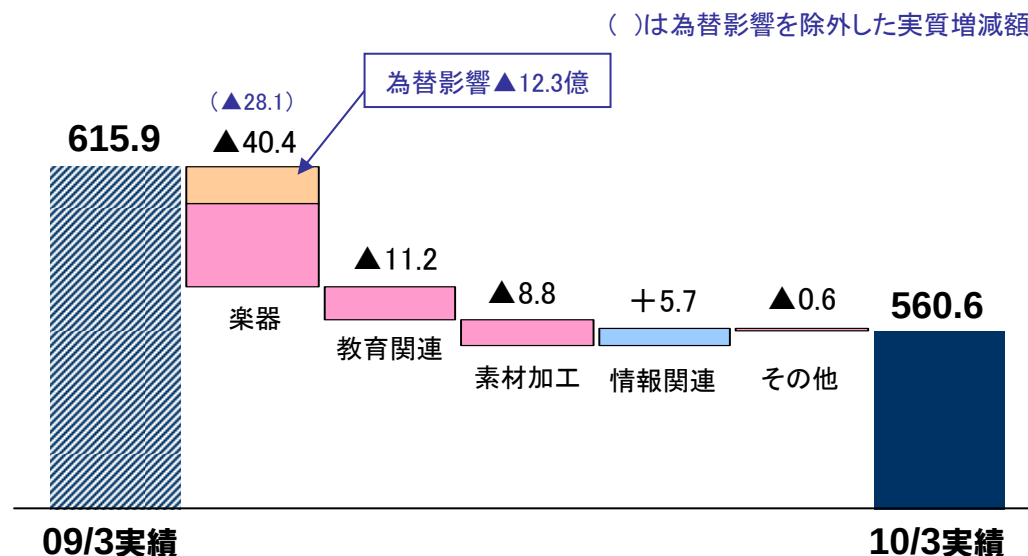


売上高は主要3事業で減収、営業利益は全事業で増益

売上高

[単位:億円]

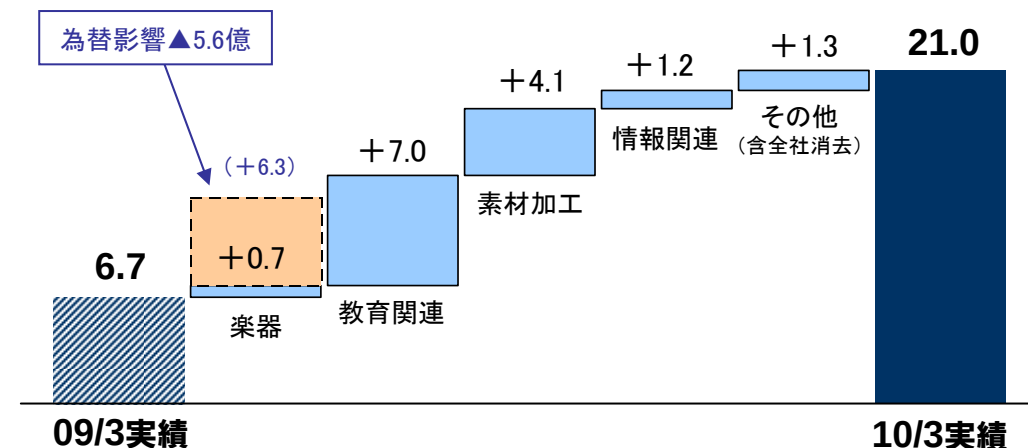
	09/3	10/3	伸長率
楽 器	293.3	252.9	▲13.8%
教育関連	192.6	181.4	▲5.8%
素材加工	102.5	93.7	▲8.7%
情報関連	24.5	30.2	+23.2%
そ の 他	3.0	2.4	▲20.0%
合計	615.9	560.6	▲9.0%



営業利益

[単位:億円]

	09/3	10/3	伸長率
楽 器	2.0	2.7	+38.5%
教育関連	7.0	14.0	+100.7%
素材加工	2.8	6.9	+143.5%
情報関連	▲1.3	▲0.1	-
そ の 他	▲0.2	0	-
合計	6.7	21.0	+211.6%



中国はピアノ販売が堅調に推移し2ケタ成長。欧米は厳しい状況が継続。

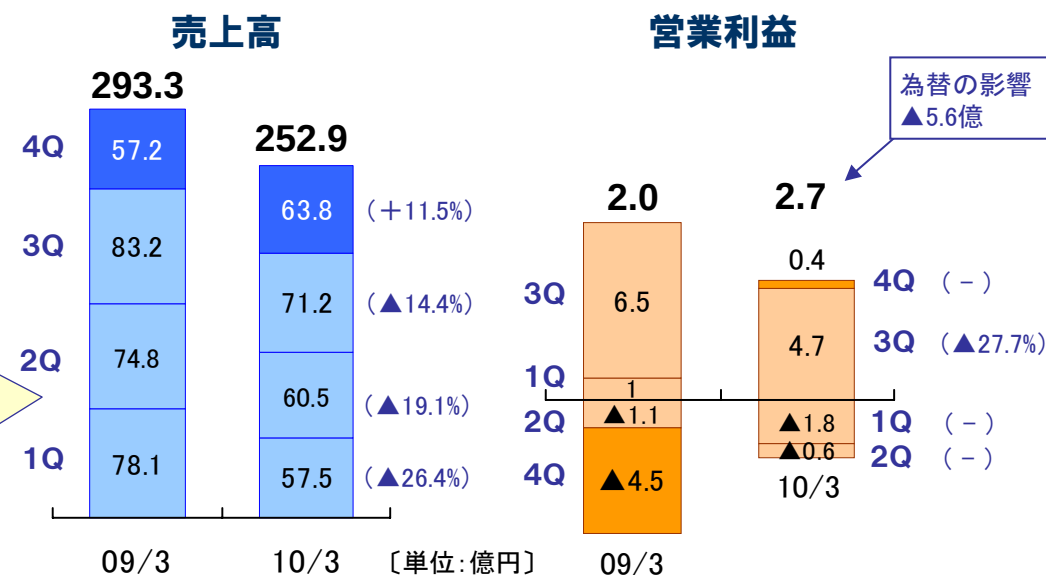
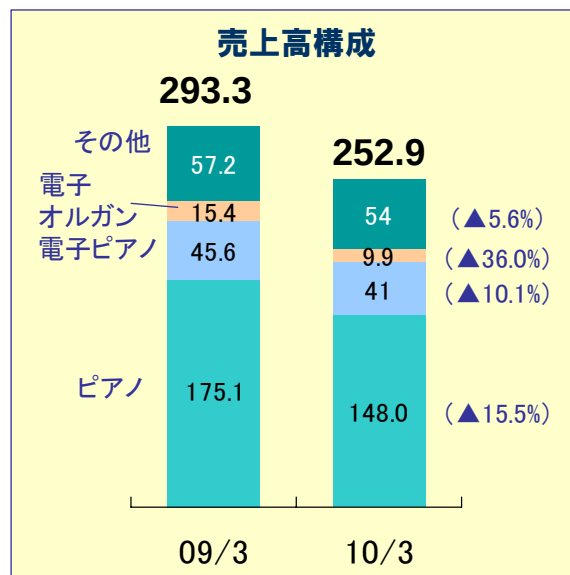
地域別売上高

〔単位: 億円〕

	09/3	10/3	伸長率
日 本	113.7	106.9	▲5.9%
北 米	79.7	52.9	▲33.7%
欧 州	42.6	34.8	▲18.2%
中 国	36.0	40.4	+12.0%
そ の 他	21.3	17.9	▲15.8%
合 計	293.3	252.9	▲13.8%

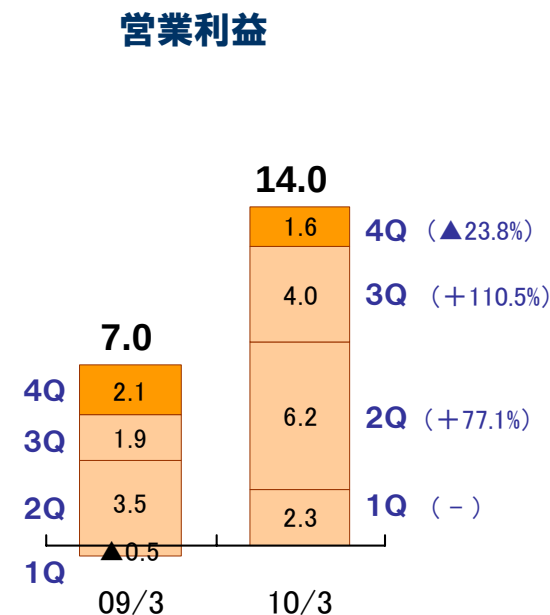
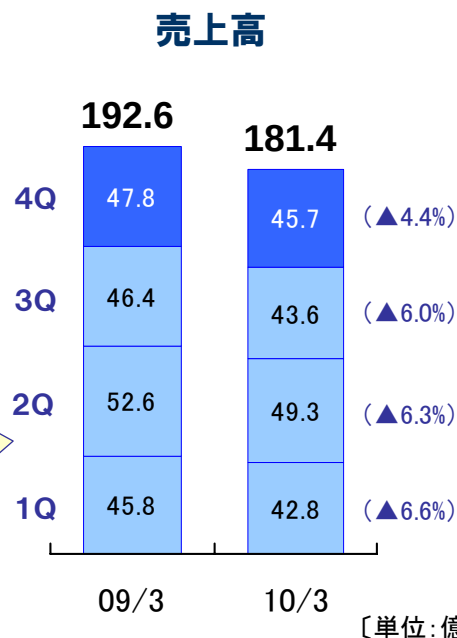
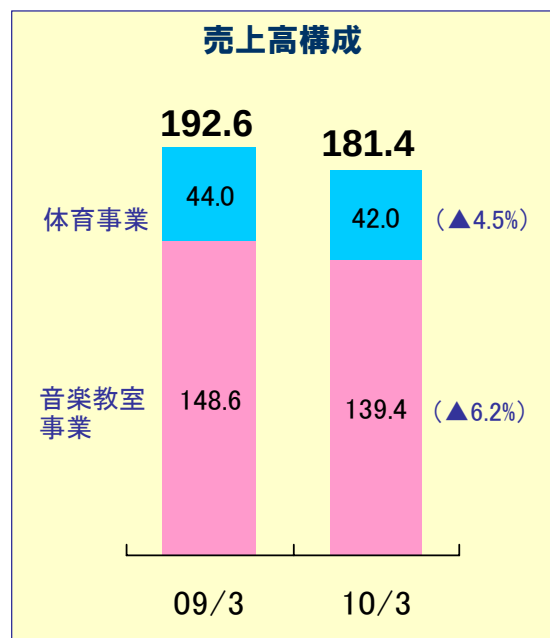
為替 US\$ 103.5円 93.6円
レート EURO 152.4円 130.2円

日本	個人消費低迷によりピアノ販売が減少する中、電子ピアノ販売は前年比微増。 第4四半期において、グランドピアノ販売が回復。
北米	市場の低迷が継続し、ピアノ・電子ピアノの販売が減少。大型オルガン販売が大きく減少。
欧州	ピアノ販売は減少したが、電子ピアノ販売は台数では増加し、堅調に推移。前年に比較し大きくユーロ安となり、為替の影響大。
中国	ピアノ販売が順調に拡大し、売上・台数ともに2ケタ成長を継続。
その他	豪州、東アジアで売上が減少。



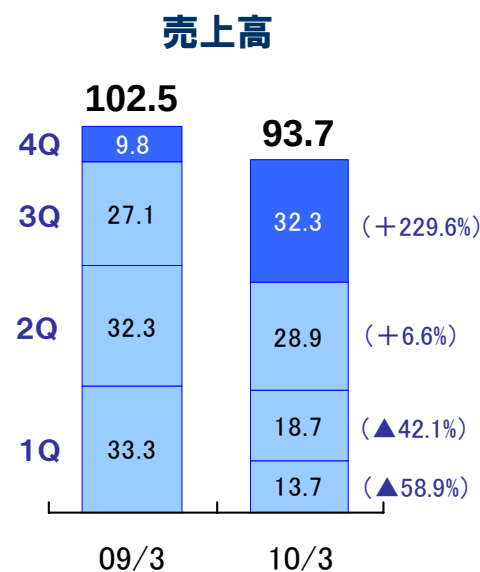
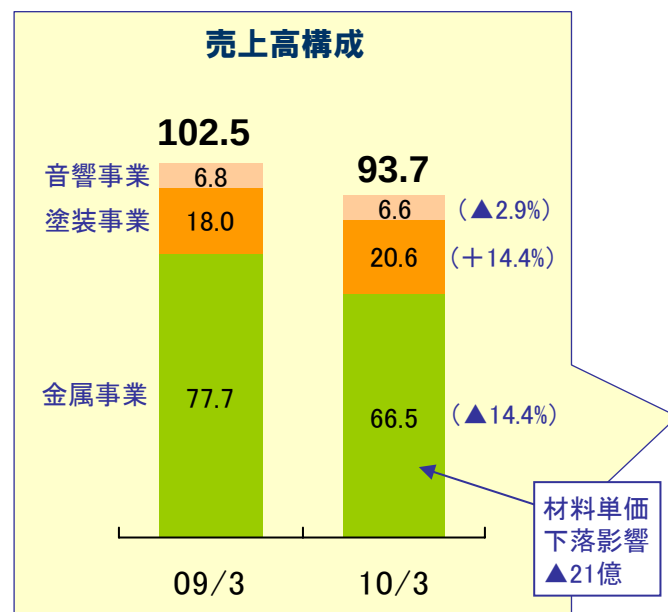
生徒数は減少となったが、音楽教室の効率改善により大幅増益。

音楽教室 事業	・音楽教室は、生徒数の減少により、売上高は前年比▲6.2%の減少。 ・営業利益は、不採算教室の統廃合や、生徒募集方法の見直し等、効率改善により大幅増益。 ・第4四半期には教室新設投資を再開し、四半期営業利益は減少。
体育事業	・高齢者向け介護予防教室が順調に拡大したが、幼児・児童向け体育教室の生徒数が減少し、売上高は前年比▲4.5%の減少。 ・営業利益は、販管費の削減等により増益。

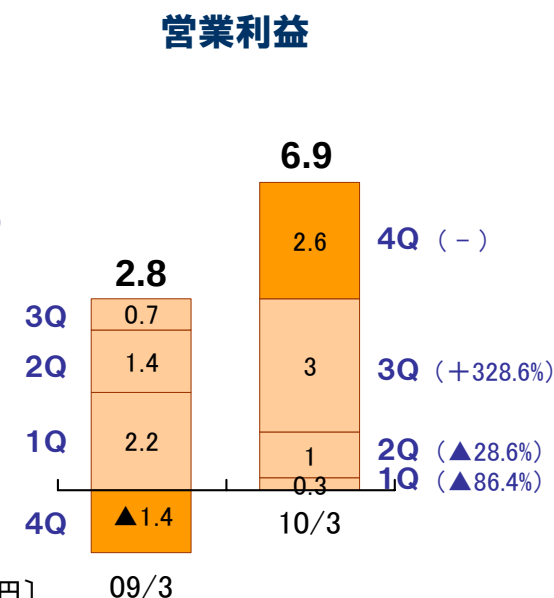


上期後半より受注が回復。金属材料の単価下落影響を除外すると増収増益。

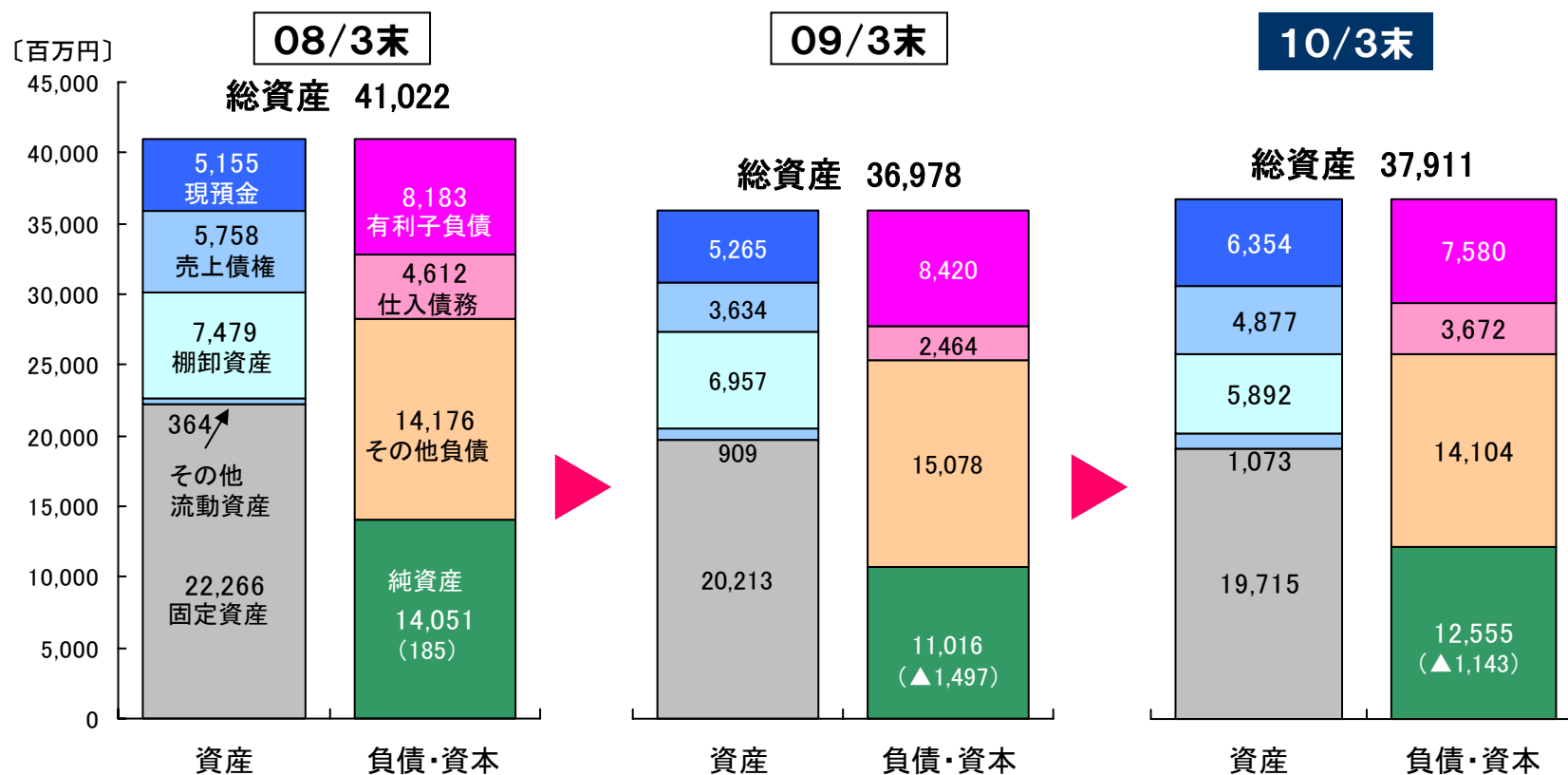
金属事業	・半導体・自動車関連ともに、取引先各社の在庫調整が一段落し、上期後半より受注が回復。通期での受注量は増加となった。 ・金属材料単価の下落による影響額▲21億を除外すると、売上高前年比+13%。
塗装事業	・期前半は米国景気の悪化により、高級車需要が低迷したが、上期後半より受注が回復し、通期での生産台数は増加。
音響事業	・主力の防音ルーム「ナサール」の受注が堅調に推移したが、解体移設等の減少により、売上高では横ばい。



〔単位：億円〕



利益の増加により、純資産が増加するとともに、有利子負債の圧縮が進む。



※()内数字は為替換算調整勘定

〔単位:百万円〕

	08/3	09/3	10/3
自己資本比率	34.3%	29.8%	33.1%
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,644	965	4,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,175	▲383	▲1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲610	▲658	▲1,574

2011年3月期～2013年3月期

第3次中期経営計画の概要



限りある資源を有効活用し、
地球にやさしいものづくりを
めざす



環境

幼児から高齢者まで、
心の豊かさと体の健康
づくりを支援



健康

KAWAI

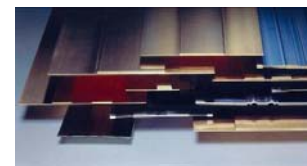
グローバルブランドの確立をめざす

環境



インドネシア植林事業(現在東京ドーム30個分)

- 楽器用木材資源の有効活用
- 木材に代わる素材の活用(樹脂製ピアノアクション等)
- 省エネルギー電子楽器
- CVT・LED向け異形圧延金属部品加工
- 防音室による快適音環境の提供



健康



幼児リトミックコース「くるくるクラブ」

- 幼児の情操を育むリトミック教育
- 心の健康のための大人の音楽教室
- 幼児・児童の運動能力向上のための体育教室
- 成人向け健康教室、介護予防教室



1. 成長市場へ向けたチャレンジ

- 成長する中国市場に対し、当社総合力を発揮
- 高齢化社会に向けた健康増進事業の拡大
- 自動車CVT向け金属加工など環境対策関連部品加工の拡大

2. 基盤事業の構造改革による収益性向上

- 楽器国内販売の構造改革
- 楽器生産体制の全体最適化
- 教育ソフトの充実と、教育・サービス事業の効率化

中国市場、介護予防市場、CVT市場、高付加価値半導体市場が成長

分野		市場環境	事業環境認識
楽器	日本	➢個人消費の回復は見込めず、ピアノ販売は減少傾向。電子ピアノは量販店ルート比率拡大。	➡ 成熟市場
	北米	➢底堅いピアノ需要があり、最近の急激な落ち込みから緩やかに回復。	
	欧州	➢市場の厳しさは継続。中東欧市場は拡大の余地あり。	
	中国	➢ピアノ販売は成長継続。富裕層の拡大により、製品の二極化が進行し、ブランド間競争がさらに激化。 ➢電子ピアノ市場は微増となるが、拡大のスピードは未知数。	➡ 成長市場
	その他地域	➢アジアを中心に成長基調。	
教育関連	子ども	➢習い事の多様化。子ども手当の導入。 ➢子どもの体力低下に伴い、運動へのニーズが高まる。	➡ 成熟市場
	大人	➢中高年の健康志向高まる。	➡ 成長市場
	高齢者	➢医療費の高騰を受け、介護予防市場が拡大。	
素材加工	自動車業界	➢CVT市場は省エネ・環境対策により、今後年率10%の伸びを予測。	➡ 成長市場
	半導体業界	➢ディスクリート半導体(※)市場は、2010年度前年比10%の成長。	

※ディスクリート半導体・・・トランジスタ・ダイオード・コンデンサ等、単機能の半導体の総称

- 1. グローバルブランドの確立**
- 2. 中国市場で総合力を発揮**
- 3. 国内市場の効率的販売体制構築**
- 4. ピアノ世界販売の拡大**
- 5. さらに魅力ある音楽教室をめざす**
- 6. 全年齢の健康づくり支援事業拡大**
- 7. 金属事業の生産体制強化**

高付加価値モデルを世界市場で拡販し、ブランド力向上のための基盤を整備

1. Shigeru Kawaiシリーズの拡販

- さらなる高品質モデルの開発に取り組むとともに、アップライトピアノモデルを投入
- 国内は都市部旗艦店を活用し、Shigeru Kawai販売体制を整備
- MPA(※)を増員し、アフターサービス体制を強化



発売10周年を迎えたShigeru Kawaiグランドピアノ

2. ピアノづくりの将来を見据えた生産・開発体制を整備

- 竜洋工場をマザー工場とし、高付加価値ピアノの企画・製造への取り組みを強化
- カワイインドネシアにおけるコスト・品質の競争力を向上、世界市場戦略モデルを開発
- ピアノエンジニアの育成を行い、技術的優位性を確保



創設30周年を迎えた竜洋工場

※MPA(Master Piano Artisan)・・・高度な技術を有し、厳格な実技試験に合格したピアノ調律技術者にのみ与えられる当社資格

成長が続く中国市場で、需要創造から生産、販売、サービス体制の強化を図る

1. 強いブランド力を背景に、学校販売を強化

- Shigeru Kawaiシリーズを軸に、音楽大学等学校販売への取り組みを強化
- 日本製高付加価値ピアノの拡販

2. 普及価格帯モデルを増やし、幅広い層へ拡販

- OEM先との連携をさらに強化し、コスト競争力の高いピアノを投入
- 河合寧波の部品供給能力を増強
- 電子ピアノの市場投入機会を逃さず対応を図る

3. 都市部を中心に音楽教室展開を加速

- 幼児グループコースから順次導入し、カワイ音楽教育システムの浸透を図る



上海市内のカワイ音楽教室併設店舗

4. アフターサービス体制の充実を図る

- MPAサービス体制を充実してピアノの品質維持を図り、現地調律師の育成を実施

都市部へ資源を集中し、市場縮小に対応した販売体制を構築

1. 店舗を核とした販売活動を展開

- 東名阪旗艦店(カワイ表参道、カワイ名古屋、梅田ショッブ(11/3期リニューアル))を核とした販売活動を強化
- ホール、イベントスペースを有する主要ショッブは、より専門性の高い情報発信型店舗に転換を図る
- 国内販売・展示拠点の統廃合を推進

2. 音楽教室との相乗効果を生かした販売の効率化

- 音楽教室併設店舗を拡大
- 音楽教室・調律サービスとの新たな三位一体販売活動にシフト



展示スペースを備えた音楽教室

3. IT(CRM・インターネット等)の効果的活用を図る

- CRM活用による業務改革、顧客情報管理を進化
- 「ピアノ教室ネット」(10/3月開設)を活用し、個人音楽教室との結びつきを強化

④ピアノ世界販売の拡大

KAWAI

市場別販売・製品戦略を策定し、ピアノ販売の拡大をめざす

1. 成熟市場での販売量回復

- 市場別に細かく商品企画を行い、競争力の高い製品を投入
- 主力シリーズをモデルチェンジ

2. 成長市場での量的拡大

- 世界最大のピアノ市場である中国市場に対し、当社総合力を発揮し、全力で取り組む

3. 新興市場の開拓強化

- Shigeru Kawaiを軸として、音楽学校への導入を推進
- インドネシア製普及価格モデル、低価格戦略モデルの投入
- アジア地域において、需要創造のための音楽教室を展開



カザフスタンの当社取引先店舗

⑤さらに魅力ある音楽教室をめざす

KAWAI

都市部人口集中エリアへ音楽教室を新設し、生徒数を増加

1. 都市部を中心とした教室新設

- 東名阪を中心に、人口集中エリアや、大型ショッピングモール内に教室新設
- 地方エリアでは、幼稚園・保育園教室、一般施設への教室開設を推進
- 地域の中核教室に、「ミュージックアテンダント」配置



横浜みなとみらい教室(10/3月オープン)

2. 魅力ある音楽教育システムの構築

- 新たな教育指導体制により新コース(子ども、ポピュラー、うた等)を開発
- ピアノコースメソッドのリニューアルを実施し、指導面での強化を図る
- 体育教室とのコラボレーションにより、「健康」「音楽」をコンセプトにした大人コースの展開



全年齢層に向けた健康増進事業を、全国市町村を対象に推進

1. 介護予防事業の拡大

- 地域支援事業に対する高齢者向けプログラムの導入
- 介護予防運動指導員の養成

2. 特定保健指導事業の推進

- モバイルヘルスアップシステムの活用
- 国民健康保険の窓口となる市町村への提案推進



カワイモバイル
ヘルスアップシステム

個人の体重や歩数などの日々の実践記録を、携帯電話から入力することで、集計や指導が簡単にできる健康づくり支援システム

3. カワイ体育教室のコース新設・拡充

- 児童高学年向け体育コースの新設
- スポーツコース(新体操クラス等)の拡充



市場拡大が見込める環境関連部品金属加工の生産体制をさらに強化

1. 浜松新工場の投資効果を発揮

- 10/3期に増設した浜松新工場に設備を導入し、生産能力を増強。取引先への安定供給と受注確保に努める



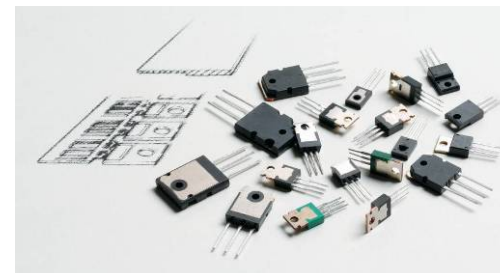
カワイ精密金属株式会社 浜松新工場

2. QCDの向上により、技術競争力を確保

- 浜松・松本両工場で、生産方式のさらなる改善に取り組む
- QCD業界No.1をめざし、取引先の拡大を図る

3. 半導体・自動車に次ぐ第3の柱を構築

- 当社の高品質・高精度の異形圧延技術が応用できる高付加価値部品の加工技術開発



2011年3月期 通期業績予想と重点戦略



売上高は対前年5.3%の伸長。営業利益は為替影響、償却負担増により減益。

〔単位:億円〕

	10/3		11/3				12/3	13/3
	実績	利益率	予想	利益率	前期差異	伸長率	計画	計画
売上高	560.6	—	590.0	—	+29.4	+5.3%	620	640
営業利益	21.0	3.7%	17.0	2.9%	▲4.0	▲19.0%	23	25
経常利益	19.3	3.4%	15.0	2.5%	▲4.3	▲22.2%	21	24
当期利益	13.2	2.4%	8.0	1.4%	▲5.2	▲39.3%	10	12

為替レート US\$
EURO

93.6円
130.2円

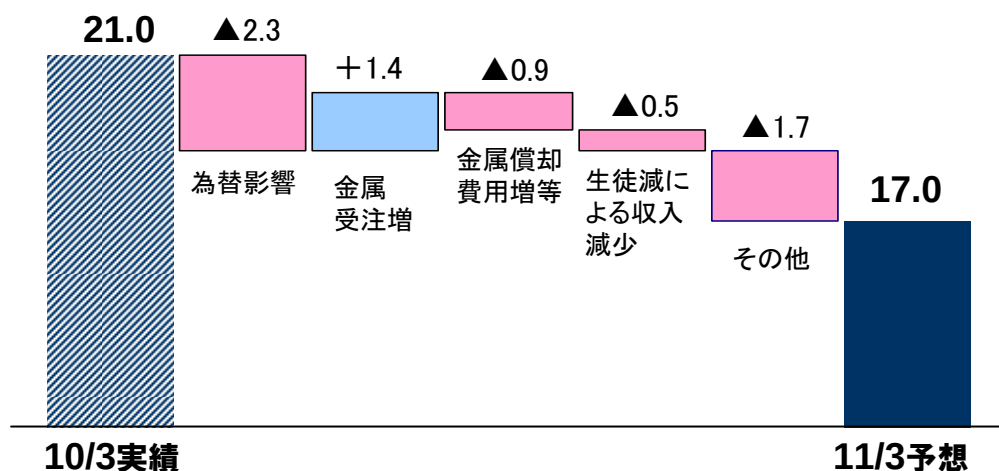
90円
120円

▲3.6円
▲10.2円

90円
120円

90円
120円

営業利益の主な対前年増減要因



経常利益の主な増減

営業利益の減少	▲4.0億
為替差益の減少	▲0.4億

当期利益の主な増減

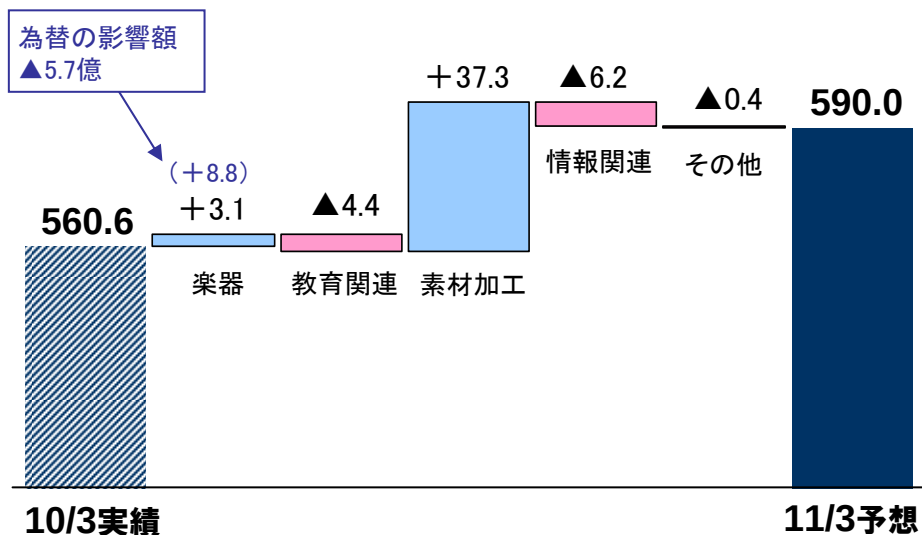
経常利益の減少	▲4.3億
雇用調整助成金未発生	▲1.0億

素材加工事業が受注増により大きく増収

売上高

〔単位: 億円〕

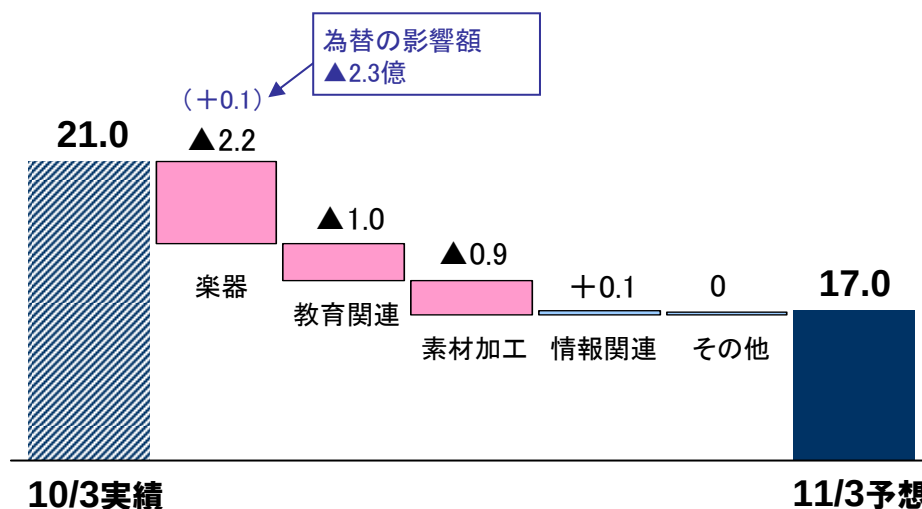
	10/3 実績	11/3 予想	伸長率	13/3 計画
楽 器	252.9	256.0	+1.2%	276
教 育 関 連	181.4	177.0	▲2.4%	184
素 材 加 工	93.7	131.0	+39.9%	155
情 報 関 連	30.2	24.0	▲20.4%	23
そ の 他	2.4	2.0	▲16.7%	2
合 計	560.6	590.0	+5.3%	640



営業利益

〔単位: 億円〕

	10/3 実績	11/3 予想	伸長率	13/3 計画
楽 器	2.7	0.5	▲81.5%	3
教 育 関 連	14.0	13.0	▲7.2%	14
素 材 加 工	6.9	6.0	▲12.9%	11
情 報 関 連	▲0.1	0	—	0
そ の 他	0	0	—	0
合 計	21.0	17.0	▲19.0%	25



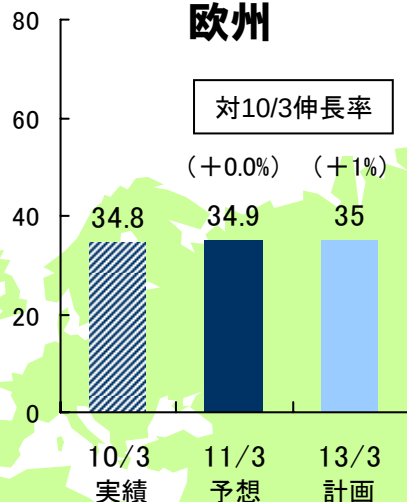
中国市場は対前期20%増。13/3期には当社海外販売の最大市場に

(億円)

欧州

対10/3伸長率

(+0.0%) (+1%)

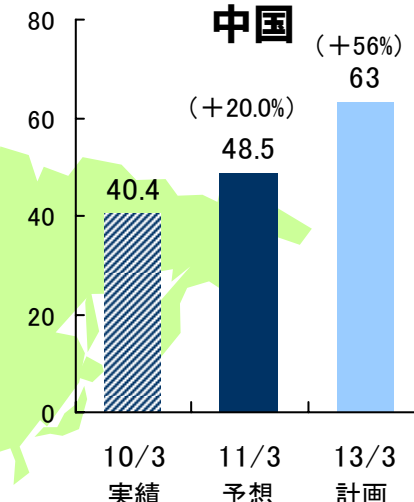


(億円)

中国

(+56%)

(+20.0%)

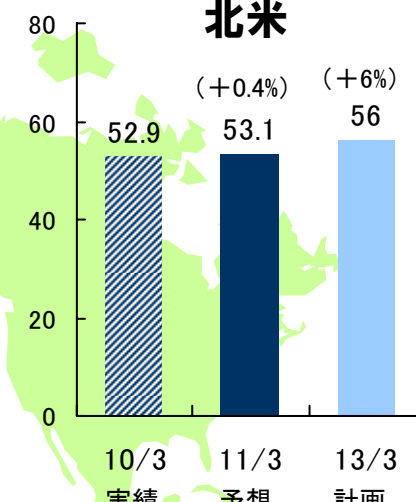


(億円)

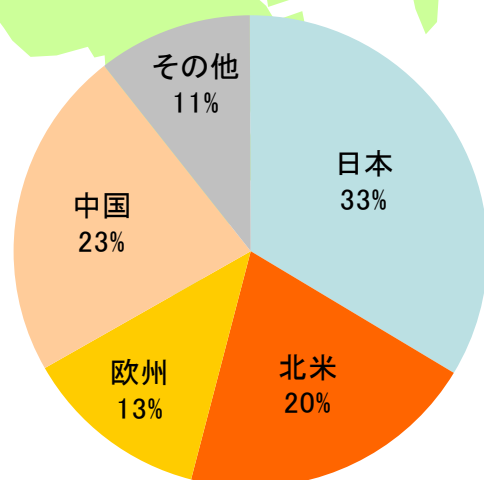
北米

(+0.4%)

(+6%)



【13/3期 地域別売上高比率】

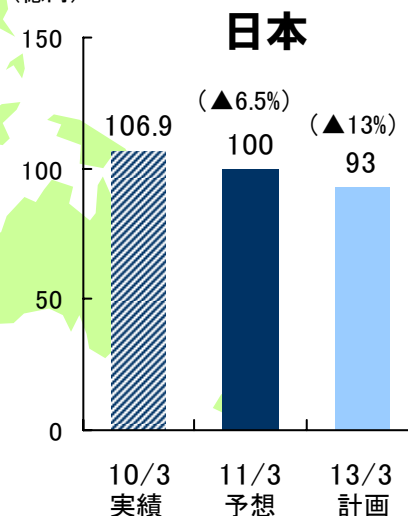


(億円)

日本

(▲6.5%)

(▲13%)

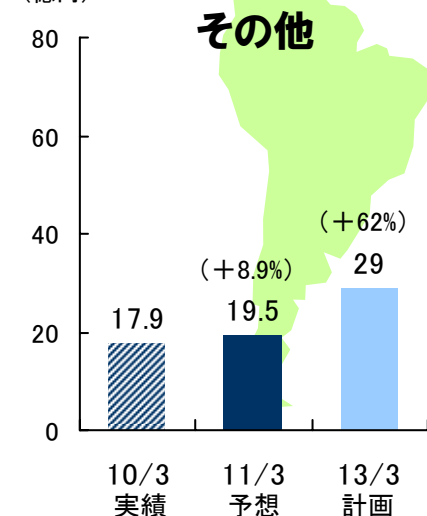


(億円)

その他

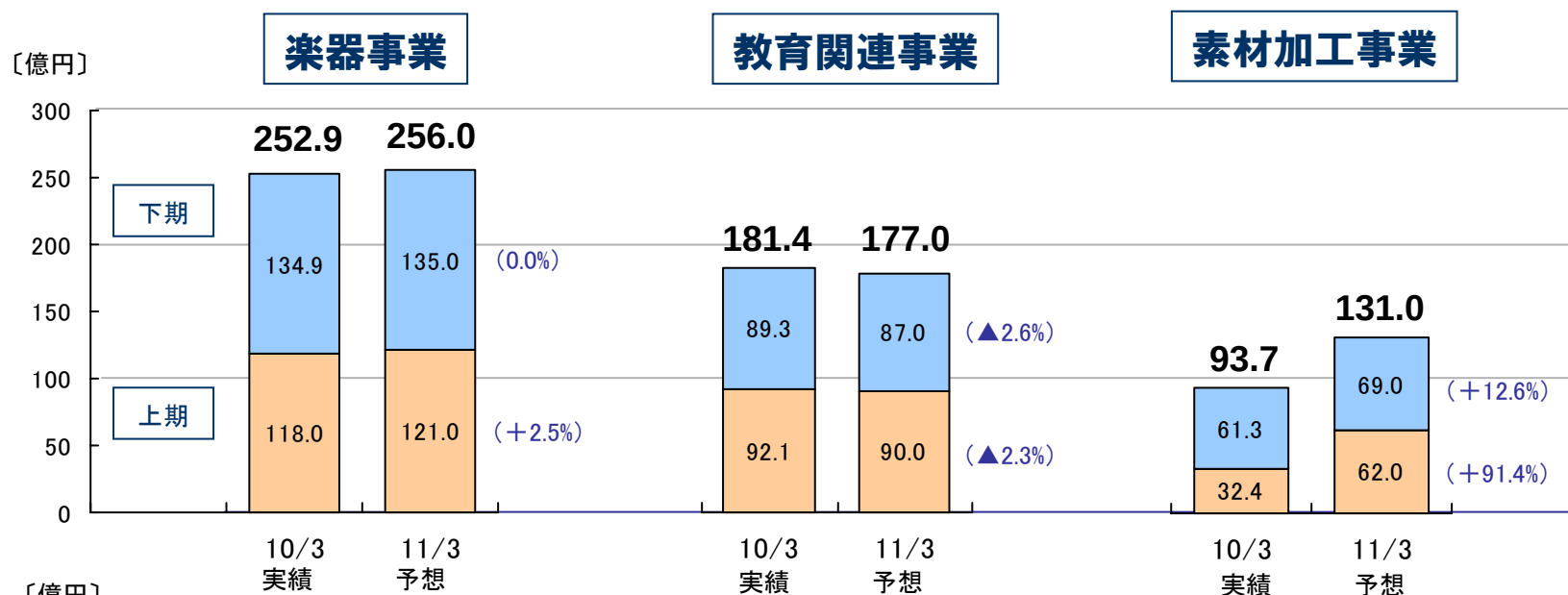
(+62%)

(+8.9%)

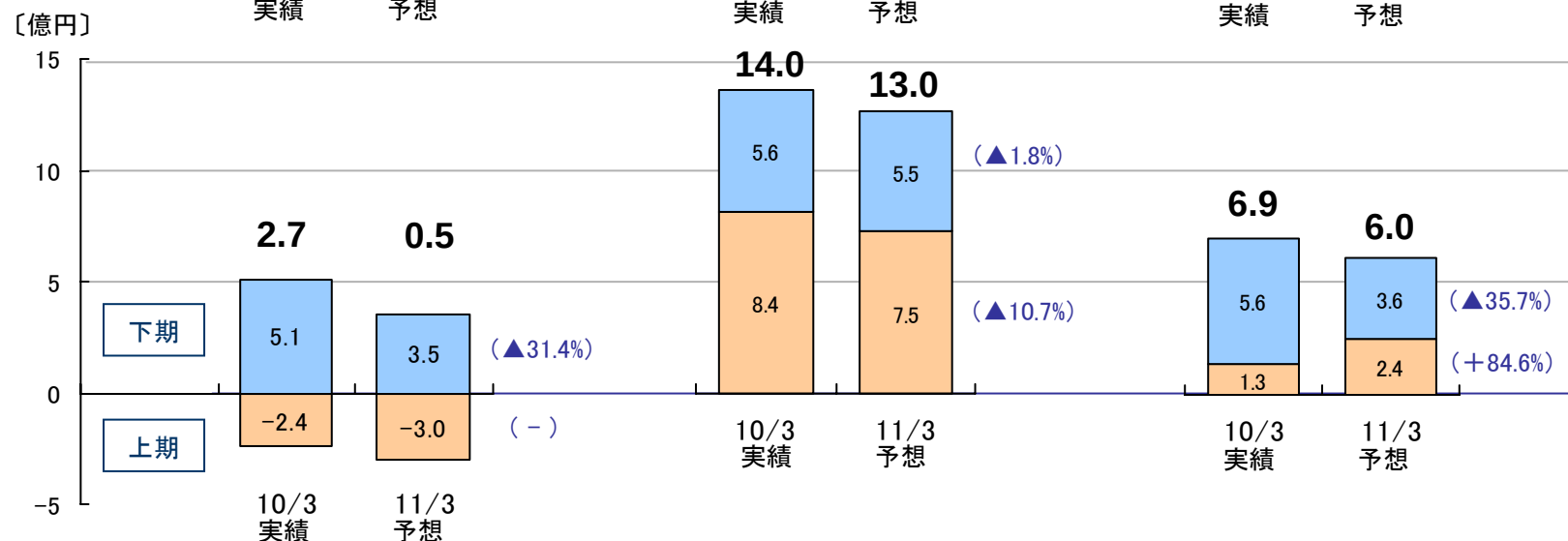


素材加工事業は前下半期に引き続き、堅調に推移。

売上高



営業利益



中国市場に向けた生産販売諸施策に注力

■楽器事業

生産関連

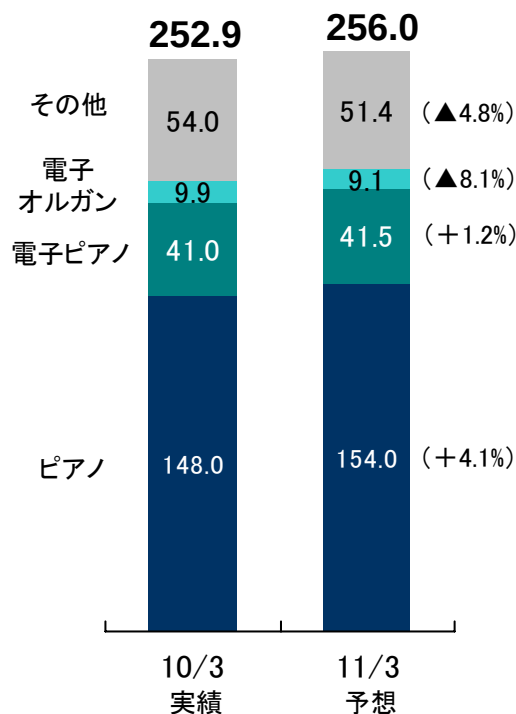
- ・河合寧波のピアノ部品生産能力増強
- ・竜洋工場・カワイインドネシアの工程改善

販売関連

- ・都市部旗艦店を核とした販売体制を構築
- ・中国学校販売の強化
- ・新興市場での開拓活動強化

製品関連

- ・中国市場向けアップライトピアノのラインナップ拡充
- ・普及価格帯デジタルピアノのモデルチェンジ



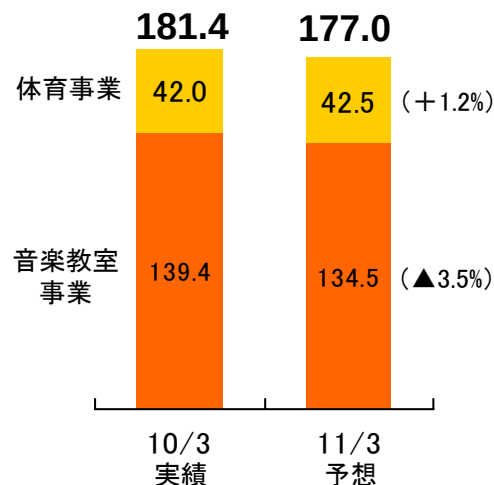
〔単位: 億円〕



デジタルピアノ CN33 (6月発売)

金属事業の受注増加に対応するための生産体制を強化

■教育関連事業



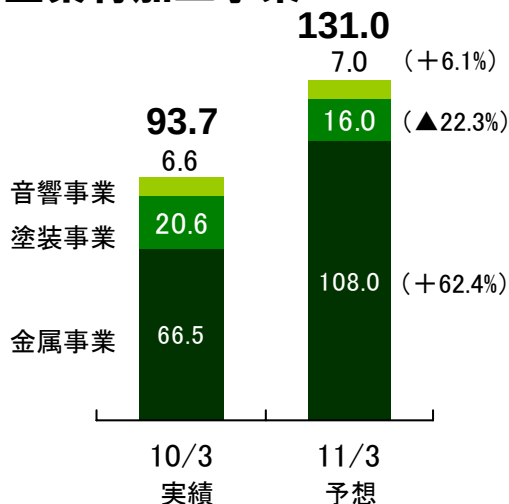
音楽教室事業

- ・都市部を中心に、生徒拡大を図る
- ・新ピアノメソッド・新レッスンコースの開発
- ・中国において幼児グループコースを展開

体育事業

- ・介護予防教室の開拓活動を強化
- ・自治体・企業向け、特定保健指導教室の提案を推進

■素材加工事業



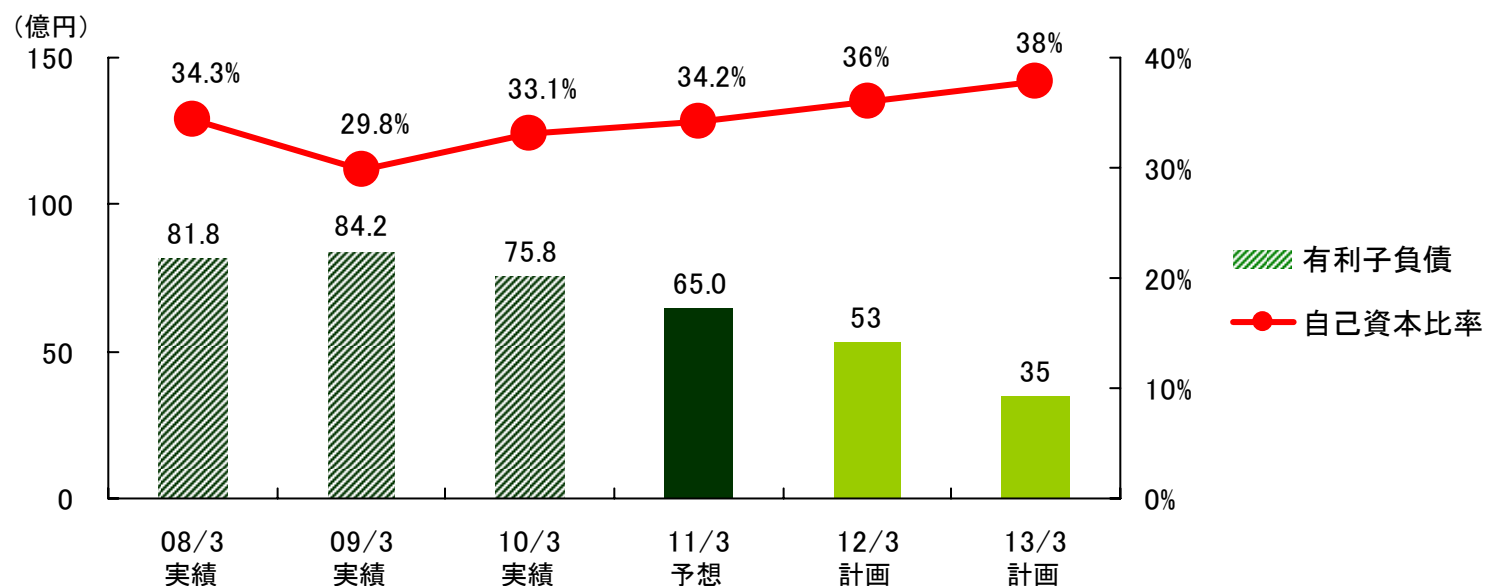
金属事業

- ・浜松新工場への生産設備導入
- ・新工場稼動に向けた人材補充・育成
- ・半導体・自動車に次ぐ、第3の柱となる部品の開発

有利子負債は65億円に減少し、自己資本比率は34%に上昇

〔単位: 億円〕

	10/3 実績	11/3 予想	12/3 計画	13/3 計画
有利子負債	75.8	65.0	53	35
純資産	125.6	130.0	135	140
総資産	379.1	380.0	375	370



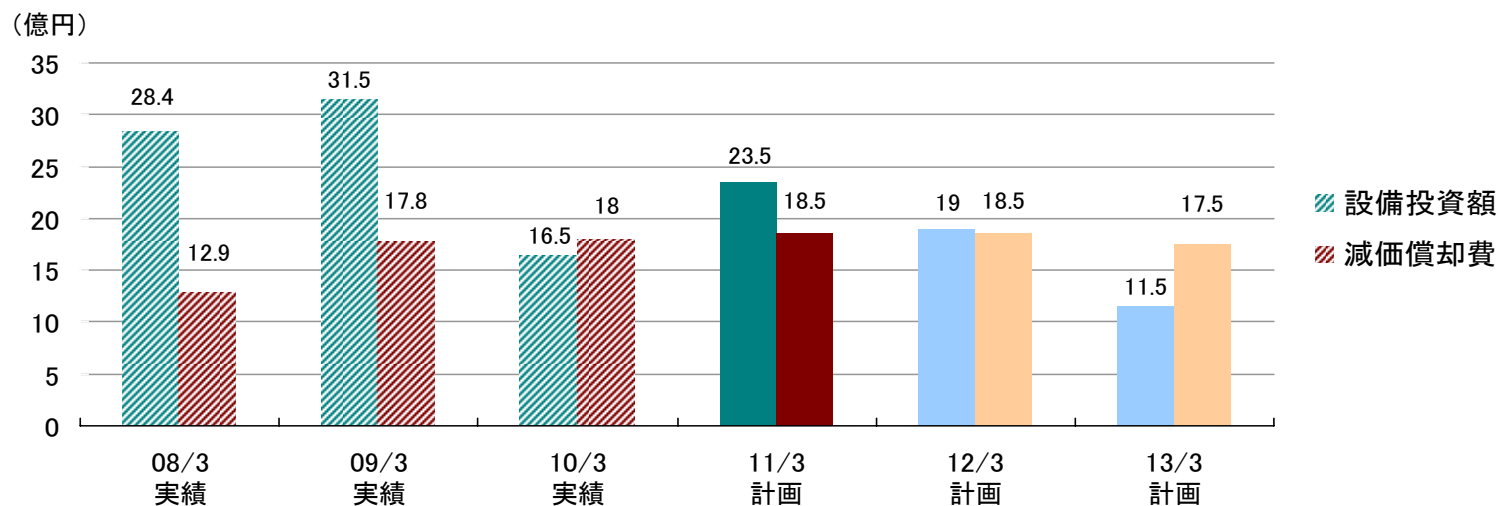
第2次中期経営計画

第3次中期経営計画

金属事業生産設備、店舗改装、教室新設等、重点戦略に基づく投資を実施

〔単位:億円〕

設備の内容		10/3 実績	11/3 計画	12/3 計画	13/3 計画	3ヶ年 合計
楽器事業	生産設備・店舗改装他	1.5	7.5	4.5	4.0	16.0
教育関連事業	音楽教室の新設他	3.5	4.5	4.5	4.5	13.5
素材加工事業	金属事業生産設備他	10.5	10.5	9.0	2.5	22.0
その他	情報化投資他	1.0	1.0	1.0	0.5	2.5
合計		16.5	23.5	19.0	11.5	54.0



第2次中期経営計画

第3次中期経営計画

基本方針

経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定配当を行う。

2011年3月期 期末配当

1株当たり2.5円を予定

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

－ お問い合わせ先 －

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200

株式会社河合楽器製作所 総合企画部広報課 森口 Tel 053-457-1226